

2026年1月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 1月えんだより

1月聖句：「イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人とに愛された。」

<ルカによる福音書2章52節>

新年あけましておめでとうございます。

今年も皆さまが心身ともに健やかに過ごせますよう、心よりお祈り申し上げます。

12月のクリスマス礼拝・祝会では、大好きなご家族をお迎えし、イエス様のご降誕をともにお祝いすることができ、本当に温かい時間を共有することができました。異年齢での劇では、それぞれのグループらしいアレンジが加えられたお話を、登場人物になりきって身体いっぱいに表現する姿がありました。

特に、ゆり組の子どもたちは聖誕劇を通して、クリスマスの意味を力強く伝えるメッセンジャーとして、その大役をしっかり果たしてくれました。先月の園だよりもお伝えした通り、聖誕劇の役にはそれぞれ意味があり、誰一人として欠くことのできない存在です。セリフや歌も一人ひとりに与えられています。ご家族の皆さまは「上手に言えるかな」「間違えずにできるかな」と心配されたかもしれません、子どもたちはその不安を感じさせることなく、堂々と、力強く、自信をもってメッセンジャーの役割を果たしてくれましたね。

リハーサルの様子も拝見しましたが、子どもたちと保育者が一緒に作り上げる過程の中で、一人ひとりが果たすべき役割を理解し、「大切な人に伝えたい」という気持ちがひとつになっていく姿がありました。

また、保育園の素晴らしいは、その姿を0歳・1歳・2歳の子どもたちも一緒に見ているところにあると感じます。細かな役の意味はまだ分からなくても、年主題の通り『ともに』過ごす中で、興味や意欲が芽生え、育っていくのだと感じます。その証として、クリスマス礼拝が終わった後も、園のあちこちから讃美歌や聖誕劇のセリフが聞こえてきています。一人ひとりの姿こそ素晴らしいクリスマスプレゼントでした。

今月の聖句には、イエス様が神さまと人からの愛をいっぱい受け、身体的な成長だけでなく、見えない部分（知恵）でも成長されたことが記されています。一人ひとりが「大切な存在」「愛されている存在」という栄養をたっぷり受けながら、日々成長していることを改めて感じます。

クリスマス祝会の最後に『神さまからのおくりもの』を手話で歌いましたが、【やさしくするこころ】【しようじきなこころ】【がんばるこころ】【大切におもうこころ】という4つの価値を子どもたちから「あなたも持っている！」という歌詞を届けられ、ハッとさせられました。子どもたちが大切にしているこの価値を、この一年も私たち大人もともに大切にし、園を通して、家庭を通して、地域を通して子どもたちを育んでいきたいと思います。今年もよろしくお願ひいたします。

年主題：「ともに」 年主題聖句：「わたしはあなたと共にいる。」 (イザヤ書4章5節)

1月	乳児 (0,1,2歳児)	幼児 (3,4,5歳児)
月主題	いっしょ	じっくりと／広がる
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> 神さまに守られていることを感じ、安心して過ごす 友だちや保育者と一緒にいることを喜び、関わろうとする 「自分で」という意思が強くなり、やってみようとする 神さまに愛され、自分も友だちも大切にされていることを感じ、喜ぶ 友だちと一緒に楽しむ 冬の自然を感じながら体を使って楽しく遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> クリスマスにお生まれになったイエスさまを身近に感じながら聖書のお話を聞く 伝承遊びや季節の遊びなどを通して、友だちとじっくり過ごすことを楽しむ 空気や風、水などの冷たさを寒さを感じながら、戸外に出て自然の変化をみつける クリスマスの感謝と喜びの余韻の中、聖書に記されたイエスさまの子ども時代からの生涯に心をとめて、礼拝する 友だちとアイデアを出し合い遊びをひろげていくことを楽しみながら、じっくり遊ぶ 吐く息の白さ、空気の冷たさ、霜、氷、雪、木々の冬芽などから冬を五感で感じる
讃美歌	つくしのように	友よ歌おう4 神さまがわかるでしょ